

「海と安全」創刊から 50 年のあゆみ

はじめに

昭和 42（1967）年 6 月に創刊された情報誌「海と安全」は、創刊から 50 年の節目に紙媒体から電子媒体へと形を変えて、当協会の目的である海難防止と海洋汚染防止を中心とする情報発信を続けています。

また、最近では海事関係者のみならず、一般の方々にも広く海を知っていただき、安全に「海」と親しみながら「海」への関心を高めてもらい、安全・安心できれいな「海」を次世代へつなぐための情報発信にも取り組んできました。

今後も「海と安全」では、海難防止・海洋汚染防止に関する情報発信はもちろんのこと、海に関する様々な情報発信も行いますので、引き続きご愛読いただければ幸いです。

なお、当協会の設立 60 周年を迎えるにあたり、「海と安全」50 年のあゆみとして過去の掲載記事などもご紹介させていただきますので、海難事故や海洋汚染防止に関する資料作成などにご活用いただければと思います。

創刊当時の会報（「海と安全」の前身）

当協会発足当時、海難防止活動をどのように周知宣伝するかについて専門委員会で検討し、会報の発行を決定、協会発足から 4 カ月後の昭和 33（1958）年 12 月に会報として「日本海難防止協会報」（月刊、タブロイド判、4 ページ、発行部数 8000 部）が創刊されました。

創刊号の主な記事は、本協会の機構や事業概要、事務局日誌で構成されており、その後は海難事故の速報や海難防止に関する会議などの概要、海難の体験談など海難防止に関する情報が発信されています。中でも、漁船と気象に関する記事が多く、当時は漁船の海難事故や台風など気象の影響を受けた海難事故が多かったことをうかがい知ることができます。

その後、この会報は、昭和 36（1961）年 2 月に表題を「日本海難防止報」と改名、さらに昭和 40（1965）年 5 月には「海難防止報」に改名して発行されており、昭和 36 年 4 月からは毎月 1 万部が発行されています。



日本海難防止協会報 創刊号



日本海難防止報 (左)

海難防止報 (右)

■ 広報誌「海と安全」の創刊

「海難防止報」が昭和42（1967）年3月号（第101号）で廃刊となり、その生まれ変わりとして昭和42年6月に広報誌「海と安全」（B5判、24ページ、月刊1万3000部）が創刊されました。内容も海難事故の防止対策をはじめ、海難審判庁の裁決、法令などの解説、気象に関する情報など海難防止に特化した情報が多岐にわたって掲載されています。

また、創刊号は前身の「海難防止報」との通巻で発行されているので、創刊号ではありませんが「海と安全（No.102）」となっています。この後、昭和48（1973）年3月号（No.171）までは同様のスタイルで発行されています。

■ 広報誌「海と安全」の変遷

「海と安全」は24ページ、発行部数1万3000部でスタートしましたが、昭和48年4月号（No.172）からグラビア4ページが追加され、「海と安全」は28ページの広報誌となります。グラビアはモノクロですが取材地で撮影された写真が使われており、記念すべきグラビアの第1回は釜石地区で開催された巡回講習で当時の様子が伺えます。

このグラビア追加に続き、昭和50（1975）年6月号（No.198）より本文を黒の一色刷りから二色刷りに変更しています。当然のことですが二色刷りにすることで視覚効果もあり、文中の写真画像も見やすく、読者の皆さんからも好評を得たようです。

しかし、昭和55（1980）年度からは、紙質や一色刷りへの変更、表紙・ページ数の見直しなどを余儀なくされましたが、海難防止および海洋汚染防止のための周知宣伝活動の一環として継続することとなりました。この変更に対応するため昭和55年4月号は創刊以来はじめての休刊号となりました。

昭和55年5月号（No.256）から装いも新たに周知宣伝のため発行が継続されますが、昭和57（1982）年度に予算など関係から発行部数を1万部から5000部程度まで大幅に削減せざるを得なくなり、より多くの読者の皆さんに配布ができるよう関係先の皆さんに送付部数の削減にご協力をいただいています。

この後、関連記事に加え連載記事や投稿記事の掲載、表紙デザインの変更といった内容の充実を図りながら、平成9（1997）年7月号（No.462）からは関連記事を集録スタイルで掲載するなどして平成



海と安全 創刊号
(No.102)



グラビアページ



二色刷りの誌面



昭和55年当時の表紙

13（2001）年5月号（No.508）まで月刊での発行を続けています。

■ 月刊の広報誌から季刊の情報誌へ

21世紀を迎えた平成13年に「海と安全」は大きく変わります。まず、発行が従来の月刊から季刊に変更になり、広報誌から情報誌となりました。本文の構成も縦書きから横書きに、これに伴い右綴じから左綴じになり、記事の内容も多岐にわたる関連記事、連載記事、投稿記事などから特集記事を中心に、読み物、海の気象、主な海難と統計などが掲載される形となりました。

また、ページ数も24～28ページを基準から52～56ページを基準に変更になり、ひとつのテーマをより深く掘り下げて内容を充実させ、読者のみなさんにわかりやすい内容で発行することとなりました。

このため、月刊から季刊への移行措置として平成13年の6・7月および8・9月は合併号として発行し、その後から季刊での発行に移行することとなりました。なお、季刊発行の第1号は2001年秋号（No.511）で特集は「漁船海難 21世紀の課題」でした。



平成2年当時の表紙



情報誌「海と安全」
(No.511)

■ 情報誌の発行と電子化

季刊発行の情報誌「海と安全」にリニューアルしたことに伴い、表紙は特集のテーマに沿った写真などが使用され、表題も特集が一目で分かるスタイルとなり、本文も写真などが多く使われ、以前の「海と安全」とはイメージの違う新しい紙面での発行となりました。

一方で、インターネットの普及が進むにつれ電子化の要望も聞えるようになり、順次内部の体制を整えながら発行済みの「海と安全」の電子化(PDF化)も進め、平成23(2011)年度のホームページのリニューアルにあわせ、ホームページでの閲覧・ダウンロードが可能となりました。

また、平成28(2016)年度からは誌面をフルカラーに変更し、より見やすく分かりやすくなるよう写真や図表などを多く使用するとともに、広く一般の方々にも「海」を知ってもらい、親しんでもらうことおよび「海」を次世代につなぐことを念頭に、夏号でマリナーなどの安全対策を中心とした情報発信を新たに開始しました。

平成29(2017)年度からは情報の発信方法を紙媒体(冊子)から電子媒体(インターネットでの閲覧)へと変更し、これまで1冊分のデータをすべてダウンロードしないと閲覧できなかったものを記事ごとに閲覧できるように改善を行い、季刊での発信に加え必要に応じてトピックなども発信できる体制を整えました。

この電子媒体への変更にあたりましては、皆さまに事前のアドレス登録などにご協力をいただき心よりお礼申し上げます。

情報誌「海と安全」特集号の推移

平成 13 (2001) 年に広報誌から情報誌となった「海と安全」の No.509 号から No.573 号までを以下に紹介いたしますので、研究や研修などの資料として活用をご希望される場合は、当協会のホームページよりダウンロードのうえご利用ください。

なお、10 年を経過した「海と安全」のご活用をご希望の場合は、ホームページからのダウンロードができませんので、お手数ですが当協会までお問い合わせをください。



No.509



No.510



No.511



No.512



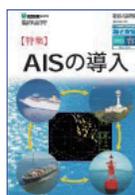
No.513



No.514



No.515



No.516



No.517



No.518



No.519



No.520



No.521



No.522



No.523



No.524



No.525



No.526



No.527



No.528



No.529



No.530



No.531



No.532



No.533



No.534



No.535



No.536



No.537



No.538



No.539



No.540



No.541



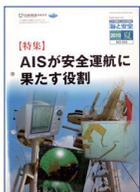
No.542



No.543



No.544



No.545



No.546



No.547



No.548



No.549



No.550



No.551



No.552



No.553



No.554



No.555



No.556



No.557



No.558



No.559



No.560



No.561



No.562



No.563



No.564



No.565



No.566



No.567



No.568



No.569



No.570



No.571



No.572



No.573

ホームページアドレス：http://www.nikkaibo.or.jp/material_magazine.html